

令和6～15年度尾張旭市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の推進

3つの基本方針		実施計画										令和6年度の状況		令和7年度実施予定
1 3の基本施策		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15			
基本方針1														
発生抑制 「ごみを減らす、出さない、ごみにしない」														
1	生ごみの水切り・減量を推進します ・ 情報提供、周知、啓発（随時） ・ 委託団体による講習会（年2回） ・ 市職員による出前講座（年1回） ・ 生ごみ処理機等購入補助制度											・ 市ホームページに生ごみを減らす取組紹介記事を掲載 ・ 「生ごみ堆肥化装置オリジナルガボッジ君製作講習会」の実施（4回開催、延べ55人参加） ・ 名古屋産業大学等での学生向け「生ごみ減量講習会」の実施（4回開催、延べ42名人参加） ・ 委託団体による「3キリ・エコクッキング」の実施（2回） ・ 生ごみ処理機等購入補助制度の実施（交付対象者数：47人、交付合計金額：282,376円）	・ 委託団体による生ごみ堆肥化講習会の実施（2回） ・ 委託団体による「3キリ・エコクッキング」の実施（2回） ・ 市職員による出前講座の実施 ・ 生ごみ処理機等購入補助制度（予算額400千円）	
2	食品ロスの削減を推進します ・ 情報提供、周知、啓発（随時） ・ 10月の食品ロス削減月間に、広報誌の啓発記事を掲載 ・ フードドライブの募集（年2回、1週間ずつ） ・ 商工会と連携した事業者への働きかけ（商工会広報誌へ年1回啓発記事の掲載）											・ 市ホームページに食品ロスを削減する取組紹介記事を掲載 ・ 10月広報誌「今月のトピックス」に食品ロス削減に関する啓発記事を掲載 ・ フードドライブ事業の実施 第1回：6/10～6/16（受付数139点、受付人数22人）	・ 市ホームページに食品ロスを削減する取組紹介記事を掲載 ・ 月刊「クルクルごみ減量通信」の配信 ・ フードドライブ事業の実施（6,12月）	
基本方針2														
資源化促進 「ごみも資源、きちんと分別」														
3	プラスチック製容器包装に加え、新しく、プラスチック使用製品の資源化及び一括回収を検討します											・ 尾張東部衛生組合との共同研究「プラスチックに係る持続可能な資源循環に向けた共同研究報告書」の公表（1月）	・ 先進地事例調査 ・ 尾張東部衛生組合との共同研究結果を踏まえた検討の実施	
4	剪定枝の回収の推進											・ 実施方法の検討	・ 家庭から排出される剪定枝等の資源回収実証実験準備	
5	燃えるごみの分別啓発を目的とした各戸収集制度の研究											・ 未実施 ・ 燃えるごみ有料化の導入についての検討と合わせて検討が必要	・ 先進地事例等調査	
6	燃えるごみに含まれる紙ごみの排出方法についての検討											・ 未実施	・ 先進地事例等調査	
7	小型家電の分別・ルート（集積所）収集の検討											・ 未実施	・ 先進地事例等調査	
8	資源物の分別（既存事業の強化） ・ 情報提供、周知、啓発（広報、ごみの出し方、さんあ〜る）											・ 市ホームページ「ごみ・リサイクル」のリニューアル（5月） ・ 月刊「クルクルごみ減量通信」の配信 ・ 市広報誌への情報提供、周知、啓発記事の掲載（6,8,9,10,11,12,1月号） ・ ごみ分別アプリ「さんあ〜る」でのインフォメーション配信	・ 市広報誌を活用した情報発信 ・ 月刊「クルクルごみ減量通信」の配信 ・ ごみ分別アプリ「さんあ〜る」でのインフォメーション配信	
9	環境教育の実施											・ 小学4年生を対象に「環境学習ノート」を配布（5月） ・ 名古屋産業大学等での学生向け「生ごみ減量講習会」の実施（4回開催、延べ42名人参加）（再掲） ・ おもちゃ病院の実施（5/19,10/20） ・ クリーンシティ推進運動ポスター・標語の募集（応募数：ポスター357点、標語328点）	・ おもちゃ病院の実施（5月,10月） ・ クリーンシティ推進運動ポスター・標語の募集	
10	生ごみの資源化、分別収集について研究											・ 委託団体による生ごみ堆肥化装推進事業の実施 堆肥化装置ガボッジ君の配布（一式53セット、消化材45袋） 委託団体によるコンポスト普及事業の実施（生ごみ堆肥化量3,021kg）	・ 委託団体による生ごみ堆肥化推進事業の実施	

3つの基本方針		実施計画										令和6年度の状況	令和7年度実施予定
1 3の基本施策		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
基本方針3													
適正処理 「安心・安全なごみ収集・処理、適正な処理」													
	11											・近隣市調査、回収方法の検討	・先進地事例等調査
	調査・研究 実証実験 判断												
	12											・先進地事例等調査	・先進地事例等調査
	調査・研究 拡充実施												
	13	燃えるごみ有料化の導入についての検討 次の1又は2の状況になったとき、燃えるごみ有料化の導入について検討する。 1. 各年度の家庭系処分ごみ排出量の実績値が目標値を上回る年度が2年続いたとき 2. 単年度の実績値と目標値の乖離が5%を超えたとき										・目標値 504 g /人・日、実績値487 g /人・日	(・令和8年度に、令和7年度実績値と目標値の乖離が5%超える場合は検討を実施する。)
		状況に応じて検討・判断											

食品ロス削減推進計画

基本的施策			市の取組		令和6年度の状況		令和7年度実施予定	
1 発生抑制を目的とした施策の展開								
	(1)	市民や事業者に対する食品ロスに関する知識の普及啓発	①講習会・研修会等の実施 ②環境教育のための啓発資材の作成・配布 ③SNS等を活用した情報の発信		・食品ロス削減につながる講習会や研修会の実施、web配信を検討します。 ・各世代にあわせた環境教育のための啓発資材を作成・配布します。 ・出前講座やSNS等を活用し、情報発信、普及啓発に努めます。		・委託団体による保育園での共同農業・食育支援の実施（8園） ・市民祭への出展（10/12,13） ・消費者庁の「SNS媒体を活用した食品ロス削減啓発プロジェクト」に参加（10/30食品ロス削減の日にXを投稿）	
	(2)	家庭における食品ロス削減の推進	①エコクッキングの推進 ②3キリ運動の推進 ③手つかず食品の廃棄削減		・エコクッキングの推進に取り組みます。 ・「3キリ運動」の推進に向けた情報発信を行います。 ・賞味期限と消費期限に関する知識の啓発等、手つかず食品の廃棄を削減するための取組を進めます。		・「3キリ・エコクッキング」の実施（7/28、1/18） ・10月広報誌「今月のトピックス」に食品ロス削減に関する啓発記事を掲載	
	(3)	事業所における食品ロス削減の推進	①「3010（さんまるいちまる）運動」の推進 ②「てまえどり」の促進 ③「ばら売り、量り売り、割引による販売」の促進		・フードシェアリングサービスの導入を研究します。 ・店舗等において「3010（さんまるいちまる）運動」を推進するため、啓発を促進します。 ・小売店側が手軽に消費者に「てまえどり」を促せるような啓発資材を検討します。 ・ばら売りなどの販売を促せるような啓発資材を検討します。		・市ホームページに「3010（さんまるいちまる）運動」啓発用資材（POP）、「てまえどり」啓発資材リンクを掲示	
2 循環型社会の推進に向けた施策の展開								
	(1)	未利用食品の有効利用に向けた取組	・フードドライブを実施するなど、市民・関連団体・事業者と連携しながら未利用食品の有効活用を推進します。		・フードドライブ事業の実施 第1回：6/10～6/16（受付数139点、受付人数22人） 第2回：12/9～12/15（受付数139点、受付人数26人）		・フードドライブ事業の実施（6,12月）	
	(2)	災害備蓄食・飲料水の有効活用	・賞味期限の近づいた災害備蓄食料については啓発用として配布するなど、廃棄しない取組をします。		・総合防災訓練、地区防災訓練、セカンドハーベストに、カロリーメイト、クラッカーなどの災害備蓄食料を配布		・地域の自主防災組織やフードバンクへの提供（5月） ・防災訓練での配布（10,11月）	
3 推進体制の整備に向けた施策の展開								
	(1)	食品ロスに関するごみ組成調査の実施	・食品ロスの把握のため、ごみ組成調査を実施します。		・ごみ組成調査の実施（12/2～12/9） 食べ残し3.2%、手つかずの生ごみ3.0%（重量比）		・ごみ組成調査の実施（12月）	